

NTT東日本さま ご提供
2018年度オンラインセミナー
2018年4月13日(金) AM11:00~12:00

JMRI

www.jmri.co.jp



被災された皆さまへ
わたし達は応援しています

東日本大震災・各種災害等において、被災された方々と復興者の皆様のご安全と1日も早い実りある復旧復興と共に、ご無念ながらに天上に召されました尊い御霊・御仏のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

3つの創作昔話で学ぶ わかりやすいセキュリティ&働き方改革のお話し

日本マネジメント総合研究所合同会社 理事長

防災士 第三種放射線取扱主任者資格者 経営管理学修士(MBA)

米国連邦航空局自家用パイロット ドローン災害レスキューパイロット

無人航空機操縦技能証明 & 無人航空機安全運航管理者 (JUIDA)

国土交通省 i-Construction推進コンソーシアム 有識者会員

総務省 & 経産省 IoT推進コンソーシアム 有識者会員

コーポレート・ガバナンス・アワード 大賞選考委員長

米国心臓学会認定AHA・BLS・HCP救命救急資格

第一級小型船舶操縦士 特殊無線技士

公認不正検査士(CFE)

戸村 智憲





- **当講演内容**につきましては、講師個人の私見を交え、わかりやすく本セミナータイトルに関連する事項等を説くものです。よって、講師の所属する組織、例えば、組織学会や経営行動科学学会や日本取締役協会等の見解を代表・代弁するものではありません。また、本講演内容通りに対応を行うかどうかはあくまでも自己責任にてご対応下さいませ。
- 本資料の講演外でのいかなる利用(複製・転載・頒布・**ツイッターやフェイスブックなどへの投稿・写真掲載**や、貴社内での利用を含む)には、講師本人に事前に書面にて通知し、講師から承認を得られた用途のみに利用が可能です。又、場合によって当該利用をお断りするケースがございます事を予めご了承下さい。
- **本講演における撮影・録音・速記等**は、講師が事前に了承した方が所定の要件に利用する以外はお控え下さいますようお願い致します。本資料の著作権・版權ともに戸村智憲が所有しております。事前の許可なく複製・転載等の利用はお控え下さい。
- **資料で「字が多い」「字が大きすぎ」といった声**を拝聴することがございます。これは、**人権等の配慮**にて、弱視・老眼等の方や補聴器ご使用者さまや聴覚障がい者の方などへの対応として、講師が手話対応等ができず大変申し訳なく思いつつユニバーサル・デザイン的に施しております措置でございます。(本ページの各項目は講師が駆け出しのころから続けさせて頂いております内容でございます。)
- **規約**とさせて頂いておりますのは、少なからず、規約の記載がなかったから「これくらいまあいいか」とコピー頒布などで知的財産権の侵害行為を行われる方に、都度、講師または弊社顧問弁護士より内容証明郵便で法的措置を講じる不毛な対応を予め避けるためでございます。ご気分を害される方がいらっしゃいましたら大変心苦しく存じます。

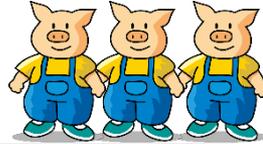


<略歴>

現在、4歳の息子を看護師の妻とともに育児中。息子が生まれる際は経営者にして1年間の育休を取得。息子が3歳になるまで家庭最優先。男性の育休取得支援や異文化理解対応など指導。

■ **早大卒**。米国**MBA**修了(全米優秀大学院生受賞:トップ0.5%の院生が受賞)。**国連**にて、国連内部監査業務の専門官、国連戦略立案専門官リーダー等を担当。**民間企業役員**として監査統括、人事総務統括を担当。公認不正検査士(CFE)を取得。**元経営行動科学学会理事**、元**岡山大学大学院非常勤講師**、(社)日本取締役協会会員、元(株)アシスト顧問、「危機管理型クラウド」の提唱者、上場IT企業JFEシステムズ(株)アドバイザー、コーポレート・ガバナンス・アワード主宰など。**1児の父**:育児・家事・仕事に取組中。著書33冊**TBS「ビビット」**生出演にてハードクレーマー問題で「**クレーム災害**」コーナー担当、**NHK「クローズアップ現代」**TV出演・番組監修担当。BS11報道番組「インサイドアウト」にてリコール問題とリスク管理コーナーでTV出演。テレビ朝日「そうだったのか!池上彰の学べるニュース」番組監修・制作協力担当、**NHK(Eテレ)「めざせ!会社の星」**専門家ゲストTV出演、BS・CS・ラジオ・雑誌連載など多数。自家用パイロット、第一級小型船舶操縦士、乗馬等、趣味も多彩。

3匹のやんちゃなオオカミ ～その①～



3匹のかわいい子豚たちは、それぞれに家を建てます・・・

子豚たちは、お母さんから大人になるために、それぞれに家を建てるよう言われました。
1匹目の食いしん坊な子豚のジョンは、「よ～し、ボクはワラで家を建てて、ランチにハムがたっぷりのサンドウィッチを食べるんだ！」と、あっという間にワラの家を建てました。

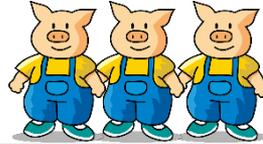
まだ他の2匹の子豚たちがモタモタしているのを見て、子豚のジョンは、「お前らはトロイなあ～。ボクはもうハムをムシャムシャ食べてるんだぞ～。あ～、おいしい！」と言って、2匹の子豚をからかっていました。

「ボクだって、家くらいすぐ建てられるよ！」と言った、**2匹目の子豚のマイケル**は、町の銀行に行って、「ねえ、普通の会社づとめ豚のボクにもローン下さい」とローン審査に行きました。すると、住宅会社と銀行がタカのような鋭い笑顔で微笑んで、木造のシェアハウス型の賃貸住宅の投資話を丁寧に勧めてくれて、あっという間に木造の家を建てました。

2匹の子豚、ジョンとマイケルは、**3匹目の子豚のステファニー**を見て、「おいおい、まだノロノロやってるよ。ボクたちはもう家を建てたよお～。ステファニーはトロイなあ～。」と言い、野菜のような馬車みたいな家で、2匹の子豚はおいしそうにランチのハムサンドをほおばっていました。

子豚のステファニーは、「ワタシはしっかりした家を建てて、安心して暮らせるようにしたいのよお～。だから、コツコツ頑張って**レンガの家**に**フレッツ光**の回線も引いて楽しく暮らすの。今なら**「ギガ押し！割引」**で**30か月割引**きだし、**「ひかりTV」**も楽しいし、なにかあっても**「フレッツ・ウイルスクリア」**や**「なおせ～る」**で安心だし・・・」と、レンガの家を建てました。

3匹のやんちゃなオオカミ ～その②～



■ その様子を見ていた3匹のやんちゃなオオカミが忍び寄る

そんな3匹の子豚たちが、楽しくのどかに暮らそうとしている頃、子豚たちを狙っている3匹のやんちゃなオオカミたちが、ヒソヒソ話をしています。

「よ～し、ボクは1匹目の**ワラの家**を襲うぞお～」と、**オオカミA男**は言いました。

「じゃあ、ボクは2匹目の**木造の家**を襲うぞお～」と、**オオカミB男**は言いました。

「それなら、ワタシは**レンガの家**を襲っちゃうわあ～」と、**オオカミC子**は言いました。

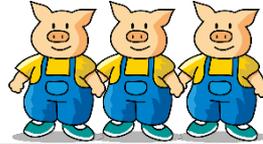
子豚たちがそれぞれの家で、ランチのハムサンドを食べ終わり、おかわりのかつ丼をほおぼっている頃、3匹のオオカミたちは、こっそりと3軒の家に忍び寄りました。

オオカミA男は、「がお～！こんなワラの家なんかふう～っと吹き飛ばしてやる！」と、大きく息を吸って一気に「ふう～っ」とワラの家を吹き飛ばしました。1匹目の子豚のジョンは、「やべえ、こんなに**インスタにバエる**シーンはすぐ撮らなきゃ」と、あわてて**スマホ**で自撮りしながら、「オオカミに吹き飛ばされたなう、に使っていいよ」と、**ツイート**しながら2匹目のマイケルの家に逃げていきました。

1匹目の子豚のジョンが「ねえ、オオカミが襲ってきたから、かくまってよ～」と言うと、2匹目の子豚のマイケルは、「ボクはオオカミより投資話を勧めてくる住宅会社と銀行の方が怖いよお～」と言いながら、ジョンをかくまってあげました。

その時です！2匹目のオオカミB男が、「ここで普通に木造の家を壊すのはお子ちゃまだな。よお～し、別の手で行くか」というと、**金融機関になりすまし**、「ドンドン、マイケルさあ～ん、ローンの取り立てで～す。貸したお金を返して下さい～い！」と言うと、マイケルはジョンを連れて裏口から一目散に逃げ、木造の空き家とローンだけが残りました。

3匹のやんちゃなオオカミ ～その③～



■ レンガの家に2匹の子豚が逃げてきました・・・

2匹の子豚は、大慌てで、3匹目の子豚の家に逃げてきました。「ねえ、ステファニー、オオカミに襲われたんだ！ かくまってよお～」という、**セキュリティ万全**のネット回線で**ひかりTV**を観ていたステファニーは、「すぐ中に入って！ 入口の**監視カメラ**にオオカミの姿が映ってるわ！」と言い、2匹の子豚をかくまいました。

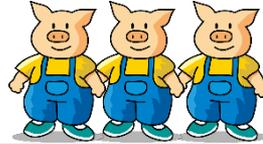
その頃、3匹目のオオカミC子は、さすがにレンガ造りで**煙突などの脆弱性もなく**、情報セキュリティも万全なステファニーの家を攻めあぐねていました。「なんてことなの！ この3匹目の子豚のステファニーは、**「まるらくオフィス」**で**24時間365日体制のIT対応**で、しかも、**「ギガらくカメラ」**で監視カメラの映像データをクラウド上に保管してあるなんて！

それに**「おまかせサイバーみまもり」**で社内ネットワークも強力だし、**「Webセキュリティ診断」**で外部からの攻撃に備えているわ！**「メル訓クラウド」**で標的型メール攻撃の訓練もしているなんて、ステファニーって、まるで**中小企業の経営者のお手本**のようね！」と言って、他の2匹のオオカミも集まり、しばらく3匹の子豚の様子をうかがっていました。

そんなオオカミが手をこまねいている様子を、窓から見ていた1匹目の子豚のジョンは、チャーシュー麺をズルズルとすすりながら、「や～い、オオカミのヤツら困ってやんの！」と高笑いしながら、格安SIMフリースマホから**SNS**にオオカミの顔写真と「極悪人！」などと**悪口**や**フェイクコメント**満載のオオカミへの**リベンジ投稿**をアップしました。

2匹目の子豚のジョンは、格安SIMフリースマホで**SNSの投稿を見つけました**。「投資話で困っている人は大集合！ 場所はレンガの家の前にある木の下ね！」という投稿に、痛い目をした**同情**から、「いいね！」をして、ピュッと家を出て集合場所に行きました。

3匹のやんちゃなおオカミ ～その④～



■ ちょっと待って！みんな冷静になろう！

2匹の子豚たちの様子を見た3匹目の子豚のステファニーは、「ちょっと、2匹とも待ってよ！ネットの利用は気を付けないと、**万全のセキュリティでも自分で安全性を壊すことになりかねない**のよ～！」の声もむなしく、2匹はわがままにネットを介して行動しました。

1匹目の子豚のジョンは、おオカミの顔写真と悪評・フェイクニュース満載のSNS投稿をしたことで、あっという間に**ネットで炎上**してしまいました。さらに、他の**写真のGPS記録**やコメントから、どこに住むどんな子豚かも突き止められ、おオカミA男からは**名誉棄損**などで訴えられ、裁判所に連れて行かれる途中におオカミA男に食べられてしまいました。**問題行為を行うおオカミA男にも、裁判をする権利やおオカミ権(人権)があるのです。**

2匹目の子豚のマイケルは、**災害時や緊急時などにある同情を引く悪意のSNSコメント**につられて、レンガの家を出た先のおオカミB男がいる木の下に行ってしまう、おオカミに食べられてしまいました。**まっとうな支援要請や災害情報との見分け**が大切です。

子豚を食べて満腹のおオカミB男は、格安SIMフリースマホで**ネット接続**での偽投稿を、**何のセキュリティ対策もしていなかった**ため、おオカミ・ネット銀行の**預金**や**仮想通貨**「ブゥ～」を100ブゥ～すべて失ってしまい、おオカミ**人生が詰み**の状態になりました。

3匹目のおオカミC子は、**ハッカーの一般的な心理**に沿って、攻めるのが面倒くさそうな3匹目の子豚のステファニー宅を襲うのをやめ、**もっと手軽に襲えそうな別の子羊商会**などの会社を攻めることにしました。

子豚のステファニーは、2匹の子豚に祈りをささげつつ、困った時は、**かけつけサポート**や**事故や故障なども同じ電話番号で相談のサポートデスク**で安心して暮らしましたとさ。

■ 人は誰でも善意のつもりでも問題行為者・違法行為者になり得る...

⇒1匹目の子豚ジョンのリベンジ投稿を考える...

- ・言論や表現の自由はあっても、あなたが問題行為者と思う人にも、当然に人権がある

- 悪口・フェイク(事実でないこと)を公然と投稿: **名誉棄損**など

- “オオカミ”の写真を投稿: **肖像権**や**プライバシー**の侵害など

- 公益性**の観点から社会的に問題ある状況を知らせることは許され得ることでも、**その仕方・手続き**などが問題になり得る

★**善良**と思えた子豚が実は悪質な「ハッカー」や犯罪者に転落も...

⇒1匹目のオオカミA男の言動を考える...

- ・**ワラの家**を吹き飛ばした**破壊行為**などは反社会的で**犯罪行為**

- ・そんな犯罪者A男にも、当然に、**裁判を受ける権利**・**弁護士をつける権利**などの人権はあるし、不当にさらされたり拘留されたりしない権利を持ち得る(公益性・安全確保の勘案は必要)

- ・ただ、そもそも、**やっちゃダメなことはやっちゃダメ!** ですよ...

■ 人は誰しもうっかり問題に直面することもある：心の脆弱性に注意

⇒2匹目の子豚マイケルについて考える・・・

- ・オオカミより怖いのは**悪意ある笑顔で近づく人間**かもしれない
- ・**同情・恐怖・心配・金銭欲**などをあおってワナにはめようとするのは、詐欺のよくある手口：**心のカギ**をあっという間に開ける
- ・詐欺師の格言：「欲のないヤツはだませない」
→戸村流には、「**小欲を持つ者は大欲を持つ者にだまされる**」

★一人で判断するだけでなく**信頼ある相談できるパートナーを持つ**

⇒2匹目のオオカミB男の言動について考える・・・

- ・**金融機関へのなりすまし**は、スパムメールなどでもよくある問題
- ・災害時や気が動転する状況という、**より冷静な判断が必要な**シーンで、相手をだまそうとすることも、昔からよくある問題
- ・**「よくある問題」を知らないまま・相談して聞かない相手を狙う**のも、またよくある問題：相談・なだめてくれるパートナーがいると、だましにくくなる（だまされたふり詐欺もあるので注意）



■ アリさんもキリギリスさんもお互いに幸せになりあえると良い・・・

むか～しむかし、あるところに「**有能”アリ**」と「**遊び心のあるキリギリス**」がおったそうなの。有能なアリは株式会社アリさん商会で、**サービス残業**をさせられたり、**残業ナシ**でバリバリ働く効率的な働き方を教えられて「**デキル**」アリさん像を抱かされたりしながら、ひたすらとせっせと働いておったそうなの。

冬に食糧をため込んで生きていけるようにして働くアリさんは、働くことで得られるものをもって何かを得て幸せになることが大事だと思っておったようじゃ。

一方、夏の間、**アリさんから見ると遊んでばかりいるように見えたキリギリスさん**は、一生懸命というより、自分の好きなバイオリンで美しいハーモニーを楽しく奏でておったそうなの。**キリギリスさんにとっては、演奏ということ自体が楽しみ**であったそうなの。

やがて冬が来て、アリさんは、夏の間、ひたすら働いてもらった給料で食料を買い込み、**誰が一番多く食料を運んできたかを競い合って、ギスギスしたアリさんたちの家の中で、温かい暖炉の前でモソモソと食事**をしておった。

そして、ふと、こう思ったそうじゃ。「**オイラは何のために働いているんだろう。幸せってなんだろう。**」と。

そんなことを思いつつ、ふと、窓の外に目をやると、夏の間**に遊んでばかりいたはずのキリギリスさんが、華やかな燕尾服を着て寒そうにこちらに向かって歩いている様子**が目にとまったとさ。

「**ああ、キリギリスさんはかわいそうに、食べ物もなく凍え死にそうになって助けを求めに来たに違いない。**」そう思って窓の外のキリギリスさんたちをかわいそうに見ておった。



■ キリギリスさんは本当に夏場に遊んでいただけなのか？

やがて、アリさんたちの家のとびらをノックする音が聞こえて、とびらを開けてみるとキリギリスさんが**誇らしげにニコニコ**して立っておったそう。そして、キリギリスさんはこう言ったそう。「**アリさん、楽しい歌を一曲いかがですか。**」

冬になって心さみしい感じがしていたアリさんは、**楽しそうな笑顔と誇らしげなキリギリス**さんの姿を見て、ちょっと一曲くらいなら聴いてみようかなあと思い、招き入れてみたのであった。思わぬ来客に、他のアリさんたちも寄ってきて、夏の間には遊んでばかりいてロクに直接食料を稼がなかったに違いないキリギリスさんが、泣いて食料を恵んでくれと言ってきたのかと思ったそう。

そんな中、キリギリスさんは暖炉の前にツカツカと歩み出て、おもむろにケースからバイオリンを取り出すと、「**真っ赤なお鼻のトナカイさん**」とかなんとかいう歌を**楽しげに**歌いだしたそう。 **楽しげに明るく歌う美声と甘いバイオリンの音色**につられ、他のアリさんたちも思わず踊り出しながら、それはそれは、**みんなで歌う楽しいひととき**を過ごしたそう。

そして、**あるアリさんがふと**「あぁ、楽しいなあ～。幸せっていいなあ」とつぶやいたそう。それは、アリさんにとって、今までひたすら寒さをしのいで食料をモソモソ食べる以外になかった冬の新しい過ごし方に、**とまどいつつも心躍る思い**だったそう。

キリギリスさんは他にも、カンツオーネや世界各地の民謡やモーツァルトなど、それはそれは楽しいレパートリーを披露してくれたそう。アリさんたちは夢中になって、**幸せを体いっぱい**に感じておったそう。ギスギスしていたアリさん宅が、**みんなあったかい気持ち**でいっぱいになったそう。



「働く」の中に「生きる」でなく「生きる」の中に「働く」がある

やがて演奏を終えたキリギリスさんは、かぶっていたシルクハットを差し出してこう言ったとそうな。

「あなたの幸せのお役に立てたなら、良ければチップとして食料を下さいませんか？」

もはや、**アリさんたちに異論はなかった**ようじゃ。アリさんたちはみんな、キリギリスさんのシルクハットに、アメのかけらや砂糖のかたまりや、夏の間に使って貯めた食料を感謝と共にお渡したそうな。

アリさんたちにお礼を述べて、食料を袋に入れて背中に抱え、またシルクハットをかぶって誇らしげにアリさん宅を出ようとした。アリさんがあわてて、**「外は寒いですし、食料もありませんし、夏の間働いていないかわいそうあなたたちを泊める場所くらいならありますよ」**と声をかけたそうな。すると、キリギリスさんは怒ることもなく笑顔でこう言ったそうな。

「ありがとう。でも、夏の間磨いた腕を披露するのを待っている他の仲間がたくさんいるんだ。幸せな気持ちを運びに行かなくちゃね。それが私にとっての幸せだし働くことなんだよ。」と。キリギリスさんは、来た時と同じく、誇らしげに燕尾服で次の演奏会に向けて雪の中を歩いていきました。

アリさんたちが食卓に戻ると、そこには、今までにはなかった楽しい幸せ感につつまれた会話が生まれ、誰が一番多くの食料を運んだかということよりも、お互いに顔を見合わせて笑顔になれることの大切さを感じていたのです。

そして、ふと、**「キリギリスさんがまた訪ねてきてくれないかなあ・・・」**と、次の演奏会を心待ちにして**働ける意欲を取り戻した**のです。

■ 幸せのあり方も多様： お互いに幸せになりあう取組みが重要

⇒ 下手な「ビジネス童話」(©戸村)づくりをビシバシと批判して頂くのも良いのですが、**ちょっとだけ見つめ直して頂きたいのは、あなたの日常です**。少し、あなたの日々や**働くことや幸せ**について振り返って見て下さい。

- ・ **キリギリス**さんは、**働くことそのものが幸せ**で、**自己実現のために働いて幸せ**になっていました。
- ・ 一方、**有能なアリ**さんは、サービス残業に異を唱えず指示にはひたすら従うだけのある意味で**不幸なアリ**かもしれません。
- ・ アリさん自身もキリギリスさんも株式会社アリさん商会の社長さんも、「**不幸なアリ化**」を進めるのがお互いにとって**幸せ**ではありません。**あなたにとって、幸せは何ですか？**
- ・ キリギリスさんは、会社で言えば**間接部門**としての働きや福利厚生にあたるような働きやチームにおける**癒し**や**円滑なチームワーク**を果たす働き高めることが**重要なお仕事**かも…。

■ 「いいか、お前ら、働き方改革としてだなあ～、・・・」と延々と長い働き方改革についてのお説教が始まるが、その話自体が残業の元

- ⇒働き方改革はトップ・経営陣・上司の「指導の仕方改革」そのもの
- 報告だけ・読み合わせだけの会議：グループウェアで共有
 - 指導の効率化：説教・武勇伝は不要で「問題解決のための効率的な指導コミュニケーション」だけ必要
 - 問題行為者の個人を責めず、そもそも、問題が起きにくいように会社として根本的に取り組めていないことはないかに着目
- 「悪者探し」でなく「原因探し」： 残業の元凶は(無能な)上司？
- ⇒改めて当たり前のことをまとめれば、会社側が役職員に生き方・働き方の多様な選択肢を提供し、役職員はプロとして多様な選択肢をフル活用してパフォーマンスを各自で最大化させる取組み
- ・甘えではなくプロとして引き継ぎ・業務中の集中・自己研さん
 - ・単によくある施策のコピペ導入でなく現場ニーズを踏まえたか？
 - ・「幸せを与える」ではなく「お互いに幸せになりあう取組み」

マッチ売りの少女A ～その①～



ある寒い冬の夜、街の片隅で凍える手でマッチを売る少女が・・・

それは、ある寒い冬のことでした。雪が降り積もり、肌を刺すような冷たい空気がおおうち中、おカネもなくおなかをすかせたかわいい少女が、よろよろとおぼつかない足取りで、街を行き交う人々に、健気にやっとの思いでマッチを売り歩いていたのでした。

「マッチは、マッチは、いかがですかあ～。マッチを買ってくれませんかあ～。」

か細い少女の声は、街の雑踏にかき消されそうになりながらも、必死にマッチを売る姿は、残り少ない口ウソクがやっとの思いで炎をともしているようにさえ思えました。

「うるせえ、こっちは品物を貴族さまのところに納めに行くのに急いでんだ！どけどけっ」
そう言って、荷車を押しながら少女を突き飛ばして歩き去る人もいました。

「なんなのかしら？マッチを買ってくれって？やだわ～、見苦しいったらありやしない。さあ、お母さま、こんなみすぼらしい姿の少女になんて構わず舞踏会に行きましょう」

そう言って、毛皮のコートに身を包んだ香水の薫りを漂わせた女性たちも、今にも倒れそうな少女のことを、全然気に掛ける様子もなく、足早にカツカツとハイヒールの靴音を響かせ歩き去って行きました。冬空の空気だけではなく、人の心も冷たいかのように・・・

「今日、マッチが売れなかったら、ワタシは食べるものも買えず、寝る場所もなく、寒い夜に一人ぼっちで凍えそうなんです。どうか、どうか、マッチを、マッチを買って下さい。」

少女は街を行きかう人々に、何度も、何度も、頭を下げながら、かかとをすり減らして街のあちこちでマッチを一生懸命に朝から売り歩いているのでした。

やがて、パン屋さんの前の街灯が、ぐるっと回って夕方を告げる影を落とす頃、この冬一番の寒さが、少女の手にいくつものあかぎれとしもやけでこごえさせるようになりまし



救いの温かい手：やさしい紳士は少女のことをちゃんと見ていた

「どうしよう。このままだと、ワタシ、寒さで街の片隅でこのまま今夜には天に・・・」

そんな心の声にならない声をつぶやいた少女は、あまりの寒さに耐えかねて、かごの中のマッチ箱をひとつ取り出すと、シュッと1本のマッチを擦りました。ポワワァ～と火が出て明るい光を少女の手を照らし、少しだけあったかくなった気がしました。

「2本マッチを擦れば、もっと温かくなるのかしら。ほんの少しでもいい。温かくなりたい。」

少女は祈るような思いで、マッチ箱から2本取り出すと、小さな凍える両手で、そっと、2本のマッチをシュッと擦りました。すると、どうでしょう。少女の前に、さっきより明るい光の向こうに、スープやオードブルやステーキなどのテーブルの上にあるディナーのおいしそうなお料理が浮かんでくるではありませんか。



「わあ～、とってもおいしそう。あのスープを一口だけでも頂けたらあったかくなるのに・・・」

そう思った瞬間、ステキなお食事は煙となってフワァ～っと空に消えてしまいました。

少女を照らした一瞬の笑顔は、また、寒空の下で凍りついた涙のひとすじに変わりました。その涙さえ、もう、ひとしずくも出ないほど、少女は青白い顔色でたたずんでいました。

「3本のマッチを擦ったら、天国のお母さまとお父さまに会えるかしら・・・。お花畑で親子3人で温かく追いかけてこられるかしら・・・」

少女はそういって、マッチ箱から3本取り出し、シュッと擦りました。今までより明るい光のその先に、ポワワァ～んと、笑顔のお母さまとお父さまの姿が微笑んでいます。少女は、思わず、とびきりの笑顔と最後のひとしずくの涙を絞り出し、光に飛び込もうとして、石畳の道を一步踏み出しました。**そんな様子を、ある紳士が少し離れた所で見っていました。**



少女に差し出された紳士の革手袋にある金貨が物語るもの・・・

紳士は、可愛い少女の姿を見て、そっと目頭を押さえたかと思うと、少女のいる方向につま先を向けました。一步踏み出した少女がよろめいたところで、さっと、紳士が少女を両手で抱きしめました。驚いた少女は紳士の顔を見上げるのもやっとの状態で、紳士にか細い笑顔を投げかけました。少女は遠のきそうな意識の中、やっとひとこと言いました。

「紳士のおじさま、マッチを、マッチを買って下さいませんか？」

紳士は静かにうなずきながら、少女の両肩に手を置き、少女としっかり向き合って、おもむろにポケットから金貨を3枚取り出すと、少女の両手にそっと金貨を握りしめさせ、頬にそっとキスをしました。それは、少女が1年かかってマッチを売り歩いても手にすることのできない金額でした。

少女は、「おじさま、ありがとう。これで・・・」と言いかけてすぐ、紳士の手を振りほどいて、近くを通りかかった警官にこう叫びました。

「おまわりさ～ん、この人、ワタシを抱きしめてキスして金貨3枚渡されましたあ～！」

すると、警官は血相を変えて紳士のもとに駆けつけて、「少女に金貨を与えてみだらな行為におよぶとは、何事だ！」と言って、手錠をかけて紳士を逮捕しました。

紳士は、「いや、これは、違います。マッチを買ってこの子を助けたかっただけです！」と言っても、警官は、「マッチが金貨3枚もするわけないだろ！このスケベめっ！」と言って、紳士が警察署に連れて行かれたのを紳士をしり目に、少女はニヤッと笑って言いました。

「あのおじさんも脇が甘いなあ～。抱きしめてキスまでしちゃって・・・今夜もクラブに行ってモエシャンで仲間と乾杯だわあ～！」と、少女はスキップして街を去りましたとき。

■ 古代ギリシャの哲学者プラトンの「真善美」一体はネットでは・・・

⇒あなたもこんな経験はありませんか？

- ・ SNSで見ず知らずの美男美女から友達申請が来る
 - ネット上では、表向きに見える「美」は「真なるもの」「善なるもの」とは、必ずしも一体とは限りません
 - 共通の友達がいる、その友達も「身元不明な美男美女」の被害者か踏み台にされている人かもしれません
- ・ 本当にある美談・悲話・窮状は、善意を悪用・誤解されるリスクを避けて、冷静・安全な状態で支援・応援することが重要かも
 - 紳士も不用意に身体的接触をせず、異性間でうかつな金銭の授受や振り込みなどを金額の多寡に関わらず行わず、正式な“マッチ売りの少女募金”の窓口から寄付しておけば、本当に助けを必要とする方に善意が届けられたのに・・・

★ 本当に誰かのために支援を行うなら、正式なURLリンク先の窓口をクリックやウェブサイト訪問して行うことが大切

■ 最大の問題・セキュリティ・ホールや脆弱性は、心の中にある！

⇒どれだけ多額の費用を投じて情報セキュリティ対策をとっても、とらなくても、**あなたの思い込み・先入観・うっかりな習慣**にこそ、最大のリスクがある

- ・**情報セキュリティ対策を講じたから絶対安全ではない**
 - 内部犯やうっかりミスで不審ファイルの「実行」をクリックなど
- ・**「これまで問題なかったから特に対策なしで大丈夫」ではない**
 - 手抜き工事の「ワラの家」でも、たまたま、オオカミが通りかからなかっただけだったり、実は、「ワラの家の中で泳がす」ように、**既に侵入・盗聴・データ漏えい**があるのを気づいていないだけかも・・・
 - これまで長時間労働・非効率な働き方でなんとかこなっていたとしても、たまたま過労死や新規雇用でしのげただけかも
(**離職リスク**は地雷原のようにあちこちにある&**新規で雇う**ことの繰り返しで、**ムダなコストも手間も垂れ流し経営**かも)



戸村智憲プロフィール・
その他の参考資料のご案内
スマホ専用ページQRコード

戸村の他の指導テーマ(例)

- ・コンプライアンス経営
- ・リスク管理/危機管理
- ・内部統制
- ・防災/減災/事業継続
- ・ハードクレーマーの危機管理術
- ・ウェブなどの風評被害対策
- ・IT経営
- ・ダイバーシティ経営
- ・女性活躍推進支援
- ・LGBT(Q)/障がい者雇用/マイノリティー支援
- ・ビッグデータの戦略的活用
- ・人工知能/IoT/ウェアラブル機器などによるIT戦略
- ・CSV経営(「本業を通じた社会貢献」)
- ・インバウンド対策
- ・グローバル化対策
- ・マネジメント系(リーダーシップ・ロジカルシンキング・経営戦略) などなど

＜ご質問・ご相談等はいつでも下記の連絡先(戸村宛て)までお気軽にどうぞ＞

日本マネジメント総合研究所合同会社 理事長 戸村智憲 宛て

〒107-0062 東京都港区南青山2-2-8 DFビル5階

E-mail: info@jmri.co.jp HP: <http://www.jmri.co.jp/>

TEL: 03-6894-7674 FAX: 03-6800-3090

